2021 年上半期日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長
東京フェライト製造㈱
石橋 彰

2021 年 1 ～ 6 月上半期は、昨年新型コロナウイルスの蔓延に伴い世界的に経済活動が停滞した後、昨年後半から今までは 2019 年レベルには戻っておりませんが V 字回復を見せております。かなりの景気回復をしてなおかつ今年上半期時点まで比較的好景気が続いております。

2020 年初頭はまだ新型コロナウイルスが景気に影響を与えていなかった為、ボンド磁石全体としては、1 ～ 3 月期は 2020 年比ではあまり変化は見られませんが、4 ～ 6 月期は 2020 年比で大きく回復しています。2021 年 7 ～ 12 月下半期でボンド磁石の経済活動の鍵を握るのは、コロナウイルスの変異種デルタ株の蔓延問題による景気停滞危惧であり、これについては、コロナウイルスワクチンの世界的供給と効果、そしてより効果的な治療薬が鍵を握ります。

フレキシブルボンド（ゴム磁石）に偏ってしまいますが、ボンドマグネットの最大の供給先である吸着雑貨関係は景気の影響をさほど受けない傾向です。

対して、リジットボンドマグネット（プラスチックマグネット）・希土類ボンドマグネットの供給先である車関係・回転関係・家電関係については、現在もコロナウイルス蔓延問題で工場稼働がおぼつかない東南アジアなどからの部品供給問題・世界的な原料供給不足で景気に予断を許さない状況が続いているのも事実です。

V 字回復で景気がほぼ戻り、国内生産・海外生産ともにフレキシブルフェライトボンド磁石・リジットフェライトボンド磁石・希土類ボンド磁石全てで、回復している景気を持続できるのか、又は不安要因が発生するのかは冷静な見極めが必要です。

各ボンド磁石の 1 ～ 6 月上半期の 2020 年度比較状況を次に記させて頂きます。

重ねて申し上げますが 2020 年 1 ～ 3 月期は、まだボンド磁石業界に新型コロナウイルスの影響が出ていなかった時期と言うことを、把握してお目通しいただければ幸いです。

フレキシブルボンド磁石

フレキシブルボンド全体では、2020 年比、1 ～ 3 月 5%程度減少。4 ～ 6 月 5%程度増加。参考までに 2019 年比 1 ～ 6 月期 10%減少であり新型コロナウイルス影響の完全回復とは言えない状況です。

フレキシブルボンド磁石は他の分類と比較して、2020 年比の伸びが少なくなっております。プラス要因として、2020 – 2021 年はパソコンなどに使われるファーンモータが伸びています。一方、現在も各種イベントが中止又は縮小となっているためノベルティーの落ち込みがあり、文具関係も若干落ち込んでおります。

主力の吸着用途・マグネットシート用途は、1 ～ 3 月期は 5%程度減少、4 ～ 6 月期は 5%程度増加で推移しております。

小型モータ回転用途は 2020 年度比、1 ～ 3 月期 10%程度減少、4 ～ 6 月期 15%程度増加しております。

リジットボンド磁石

リジットボンド全体では、OA 関係を除き増加傾向です。2020 年比 1 ～ 3 月期 15%程度増加、4 ～ 6 月期 35%程度増加。参考までに 2019 年比 1 ～ 6 月期 15%程度増加で回復している状況です。

昨年に続き、主要用途である自動車用途は、2020 年比 1 ～ 3 月期で 10%程度増加、4 ～ 6 月期で 50%程度増加となっております。

自動車用途に次ぐ家電関係も堅調です。2020 年比 1 ～ 3 月期 25%程度増加、4 ～ 6 月期については 75%程度増加しております。

回転用途は、2020 年比 1 ～ 3 月期 20%程度増加、4 ～ 6 月期 5%増加しております。OA 用途は 2020 年在宅勤務で好調であったプリンター需要の反動で、2020 年比 1 ～ 3 月期は 30%程度減少、4 ～ 6 月は 5%減少で推移しております。

希土類ボンド磁石

希土類ボンド磁石全体では 2020 年比 1 ～ 3 月期 10%減少、4 ～ 6 月期 95%増加。参考までに 2019 年比 1 ～ 6 月期は 5%程度の減少です。

希土類ボンド磁石一番の用途の自動車用途で、2020 年比 1 ～ 3 月期 5%程度減少、4 ～ 6 月期 110%程度増加となっております。

回転用途に関しては、2020 年比 1 ～ 3 月期 2020 年 30%減少、4 ～ 6 月期は 55%程度増加しております。

その他の状況も 2020 年比 1 ～ 3 月期は昨年比 10%程度減少だが、4 ～ 6 月期は 1 00%増加と大幅な回復をしております。

ボンド磁石国内生産推移及び日系海外生産推移 2007 ～ 2020

		'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	' 19	' 20
フレキシブルフェライト系	重量（ton）	3,970	3,610	2,530	2,600	2,600	2,550	2,700	3,240	3,240	3,240	3,400	3,570	3,500	3,150
	金額（億円）	30	27	19	19	19	19	19	23	23	23	24	25	24	22
（日系海外生産）	金額（億円）	15	13	5	5	5	5	11	11	11	11	17	17	16	14
国内・海外生産小計	金額（億円）	45	40	24	24	24	23	29	34	34	34	41	42	40	36
リジッドフェライト系	重量（ton）	9,800	8,100	5,670	7,000	6,800	6,000	6,800	7,480	6,730	6,800	7,340	7,500	6,900	6,210
	金額（億円）	145	119	84	105	102	91	103	116	104	105	113	115	106	95
（日系海外生産）	金額（億円）	95	82	42	95	95	85	94	94	85	86	91	92	82	74
国内・海外生産小計	金額（億円）	240	201	126	200	197	176	197	210	189	191	204	207	188	169
希土類系	重量（ton）	600	520	360	600	700	800	900	1,250	1,400	1,150	1,540	1,570	1,600	1,400
	金額（億円）	96	87	58	97	-	-	171	245	274	225	301	307	276	260
（日系海外生産）	金額（億円）	280	260	182	300	-	-	500	510	500	550	605	570	485	388
国内・海外生産小計	金額（億円）	376	347	240	397	-	-	671	755	774	775	906	877	761	648
国内生産合計	重量（ton）	14,370	12,230	8,560	10,200	10,100	9,350	10,400	11,970	11,370	11,190	12,280	12,640	11,800	10,760
	金額（億円）	271	233	161	221	-	-	293	384	401	353	438	447	406	377
（日系海外生産）	金額（億円）	390	355	229	400	-	-	605	615	596	647	713	679	583	476
国内・海外生産合計	金額（億円）	661	588	390	621	-	-	897	999	997	1,000	1,151	1,126	989	853